

## 安全データシート

作成日 : 2021年7月13日

最終改訂日 :


## 1. 製品名及び会社情報

製品名 : 2W/W 塩化リチウム  
 製造番号 :  
 会社名 : 協和純薬工業株式会社  
 住所 : 東京都北区浮間 4-16-28  
 担当部門 : 品質管理室  
 電話番号 : 03-3968-7441 FAX 番号 03-3969-0049  
 緊急連絡先 : 協和純薬工業株式会社 本社 (電話 : 03-3968-7441)

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性 :	爆発物	: 分類できない
	可燃性/引火性ガス (科学的に不安定なガスを 含む)	: 分類対象外
	エアゾール	: 分類対象外
	支燃性/酸化性ガス	: 分類対象外
	高压ガス	: 分類対象外
	引火性液体	: 分類できない
	可燃性固体	: 分類対象外
	自己反応性化学品	: 分類できない
	自然発火性液体	: 分類できない
	自然発火性固体	: 分類対象外
	自己発熱性化学品	: 分類できない
	水反応可燃性化学品	: 分類できない
	酸化性液体	: 分類できない
	酸化性固体	: 分類対象外
	有機過酸化物	: 分類できない
	金属腐食性物質	: 分類できない
健康に対する有害性 :	急性毒性 (経口)	: 区分4
	急性毒性 (経皮)	: 分類できない
	急性毒性 (吸入)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性	: 分類できない

	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性 :	水生環境有害性 (急性)	:
	水生環境有害性 (長期間)	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない
GHS ラベル要素		
絵表示又はシンボル :		
注意喚起語 :	危険	
危険有害性情報 :	飲み込むと有害 吸入すると有毒 強い眼の刺激 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害	
注意書き		
安全対策 :	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。	
応急処置		
吸入した場合 :	被災者を新鮮な空気のある場所に移すこと。呼吸しやすい姿勢で休息させること。	
皮膚に付着した場合 :	すべての汚染された衣服と靴を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗うこと。	
眼に入った場合 :	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。	
飲み込んだ場合 :	直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。	
保管 :	施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。	
廃棄 :	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。	
その他の危険性有害性		
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。		

### 3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分：	混合物	
化学名又は一般名：	塩化リチウム	水
濃度又は濃度範囲(含有量)：	2 W/W%	
別名：	塩化リチウム	水
化学式：	CLi	H2O
CAS No.：	7447-41-8	7732-18-5
化審法番号：	1-231	

---

### 4. 応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、症状の続く場合は医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合：	直ちに多量の流水で皮膚の刺激やぬるぬるした感じがなくなるまで洗浄を続ける。直ちに医師の診断を受けること。
眼に入った場合：	清浄な水で最低15分以上洗眼した後、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外し、洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合：	水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師の診察を受けること。
急性症状及び遅延性症状 の最も重要な兆候症状	： 見当識障害、施行錯乱、記憶減退。
応急処置をする者の保護：	ゴム手袋、適切な換気
医師に対する特別注意事項：	

---

### 5. 火災時の措置

消火剤：	この製品自体は燃焼しない。
特有の危険有害性：	火災によって有害なガスが発生する恐れがある。
特有の消火方法：	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周囲を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護：	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

---

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	： 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
---------------------------	--

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。	
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め方法など：	砂や土に吸収させて容器に回収する。 残留物を多量の水で洗い流す。
二次災害の防止策：	漏出物を回収すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策：	排気・換気設備を設けること。
安全取扱い注意事項：	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染された保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

### 適切な衛生対策

この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしないこと。

### 保管

安全な保管条件：	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉し、施錠して保管する。
----------	--------------------------------------

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	データなし
設備対策：	適切な換気のある場所で取り扱う。 排気／換気設備を設ける 洗眼設備を設ける 手洗い／洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具：	保護マスク

手の保護具：	ゴム手袋
眼の保護具：	側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣、保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	無色の液体
臭い：	無臭
pH：	中性
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
溶解度：	水に可溶。 アルコール、エーテルに可溶
蒸気圧：	データなし
蒸気密度（空気＝1）：	データなし
比重（相対密度）：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
VOC：	データなし
分解温度：	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の保管条件にて安定である 加温や光の影響により分解し、酸素を生じて火災の危険性を増大させる。
化学的安定性：	通常の手扱い条件においては安定。
危険性有害反応可能性：	BrF <sub>3</sub> と激しく反応する可能性がある。 金属の腐食性がある。
避けるべき条件：	熱、混触危険物質との接触
混触危険物質：	BrF <sub>3</sub>
危険有害な分解生成物：	塩素、塩化水素

## 11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	ラット LD50=526-840mg/kg（塩化リチウムとして）に基づき、 区分4とした。
眼に対する重篤な 損傷性・眼刺激性	： データなし
皮膚腐食性／刺激性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性、 （単回ばく露・反復ばく露）	： データなし
吸引力呼吸器有害性：	データなし
その他の情報	：
（GHS 分類には該当しないその 他の有害性情報）	

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生生物有害性	水生生物に有害
水性環境有害性：	長期継続的影響により水生生物に有害
水溶解度	76.9 g / 100m l （塩化リチウムとして） 混和する（ISCS, 2000）
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	土壌中の移動性データなし
他の有害影響	オゾン層への有害性データなし
その他情報	

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
 廃棄物の処理方法 環境への放出を避けること。  
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って  
 危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を  
 受けた産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行って

汚染容器及び包装

いる場合には、そこに委託して処理する。  
 容器は洗浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去する事。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号： 国連番号に該当しない

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法： 該当しない

航空法： 該当しない

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

該当しない

労働安全衛生法

名称表示危険/有害物： 該当しない

名称通知危険/有害物： 該当しない

化学物質管理促進（PRTR）法 非該当

消防法 非該当

化審法

優先評価化学物質： 該当しない

水質汚濁防止法

指定物質： 該当しない

適用法規情報

海洋汚染防止法： 該当しない

港則法： 該当しない

道路法： 該当しない

労働基準法： 該当しない

## 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6<sup>th</sup> ed., 2015)

UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20<sup>th</sup> edit.,2017

UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures

Table 3 ECNCO6182012

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK

US DOT

2020 TLVs and BEIs

ACGIH

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253:2019

JIS Z 7252:2019

2019 許容濃度の勧告

日本産業衛生学会

Supplier's data/information

Hazard Communication Standard-2012

29 CFR 1910.1200

化学品安全データ管理システム “GHS Assistant “

<https://www.asahi-ghs.com/>

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。